



急落した日本株、指標には割安感も

8月に入り、**日本株は急落**しました。日経平均は8月1日から5日までの3営業日で7,643円安と大幅に下落、特に5日は前日比4,451円安と過去最大の下落幅を記録しました。

他方、為替市場では急速に円高が進む場面もあり、**米国の景気下振れ懸念や大幅利下げ期待の高まり、日銀の利上げ姿勢への警戒感**などを受けて、これまで積み上がっていた**円売り・日本株買いの取引の解消**が複合的に進んだものとみられます。

日経平均は、6日に3,217円高と過去最大の上昇幅を記録するなど荒い値動きが続いていますが、**7月の高値から大幅に調整したことで、指標面では過去と比較した割安感**も出てきました。

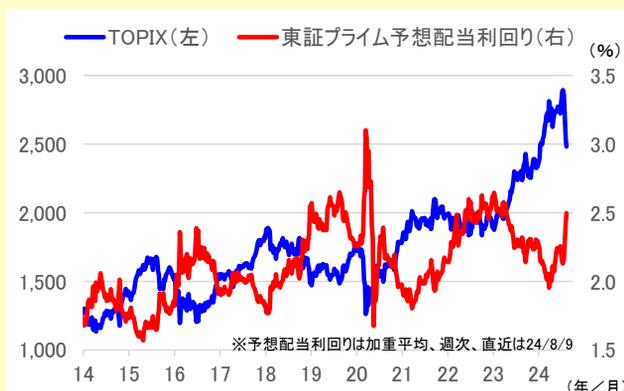
現時点で国内の**企業業績が大きく変調している様子はなく**、値動きが落ち着けば投資家心理も落ち着き、冷静に経済環境や投資指標を見極めた買いが戻ってくることも考えられます。

急落時は不安になりがちですが、**落ち着いて中長期の視点で投資を続ける**ことが重要です。

配当利回り、PERなどの指標に割安感

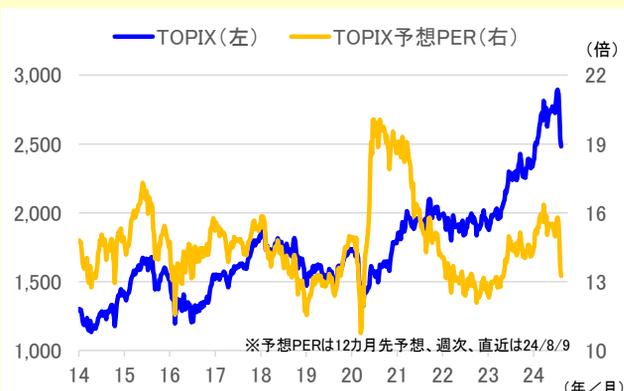
- 8月9日現在、東証プライム市場の**予想配当利回り**(加重平均)は約2.5%と、コロナ禍の一時期を除いて**過去10年で最も高い水準**に近づいています。(左グラフ)
- 同じく株価と利益の水準を比較した**PER**(12カ月先予想)は13.2倍台で、**過去10年のレンジの低位**に位置する水準に低下しています。(右グラフ)

【TOPIXと配当利回りの推移】



(出所) QUICKよりちばぎんアセットマネジメント作成

【TOPIXとPERの推移】



(出所) Bloombergよりちばぎんアセットマネジメント作成

※上記は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

- 本資料はちばぎんアセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。
- 本資料に記載された当社の意見ならびに予測は資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。また、本資料は当社が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当社が保証するものではありません。本資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 本資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。